事業概要：DXを活用した公共交通の利便性や効率性、持続可能性向上を図る事業

継続

申請者	佐賀県唐津市						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	58,565千円 （17,434千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			

目的・効果

住民の生活に必要な公共交通機関である路線バス及び乗合タクシーの持続可能な交通体制の確保に努めるとともに、交通弱者を中心とした人々の生活を支える交通を維持し、日常生活や観光における利便性向上を図る。
公共交通の維持・利便性向上により、住民の安定した移動手段が確保されるとともに、観光客の利用環境の改善が進み、地域の定住促進や交流人口の拡大につながる。

事業概要・主な経費

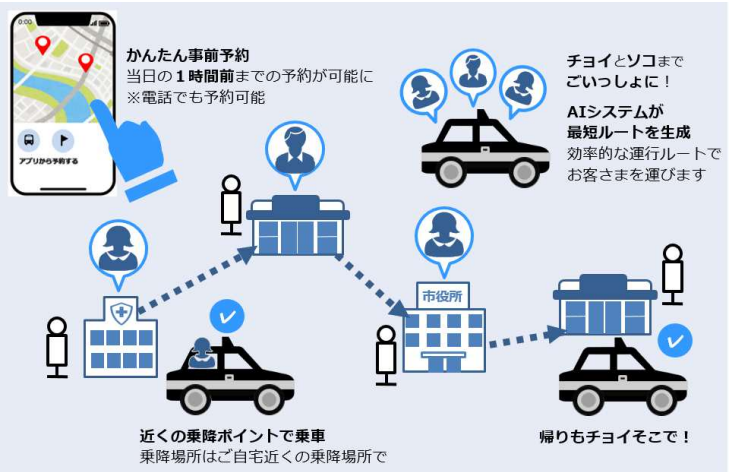
【事業概要】

住民の生活を支える持続可能な公共交通体制の確保に向け、路線バスや乗合タクシーの維持に努めるとともに、AIを活用したデマンド交通の導入により利便性の向上を図る。また、運転士不足に対応するため関係機関と連携した確保対策や免許取得支援を進めるとともに、タクシー配車アプリの導入等により観光客を含めた利用環境の改善と地域交通の充実を図る。

【R8年度事業　経費内訳】

○ソフト事業経費
生活路線バス等運行対策事業
路線バス及び乗合タクシーの利便性を向上するとともに、持続可能な交通体制の確保に取組むもの。
・オンデマンドシステムの導入（補助金）17,434千円

【オンデマンドシステム運用イメージ】



主なKPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

①公共交通の利用者　（+2,463人/日）
②路線バス１人あたりの財政負担額（▲63.3円）
③オンデマンドシステムの登録者数（＋979人）
④配車アプリを導入したタクシーの車両数（＋54台）

URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

https://www.city.karatsu.lg.jp/page/47922.html